

# 自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 山陽色素(株)

## 1 環境保全活動に関する方針等

### 1-1 環境保全活動に関する方針

山陽色素は、「環境基本法」の基本理念、及び当社の環境理念に基づいて、環境方針を定め、一人一人が環境保全のために行動します。

1. この地球に生きる人間一人一人にとっても、また企業にとっても、環境問題が最も重要な課題であるとの認識のもとに、社員一人一人が環境保全に努める。
2. 当社の経営重点課題の一つとして環境マネジメントシステムを構築、運用し、全員参加で環境負荷低減に取り組むとともにシステムの継続的改善を図る。
3. 国の環境関連法規、地方自治体の条例、規則、基準及び社内の環境関連規定類を遵守し、環境の保全と向上に努める。
4. 当社が実施する各種の環境負荷低減活動の中の重点実施項目として、下記の項目を設定する。
  - ①省資源・省エネルギー活動の推進
  - ②排水及び廃棄物の削減
  - ③環境に配慮した製品の開発
  - ④グリーン調達推進
  - ⑤化学物質の管理及び環境に有害な物質の排出削減

※弊社ホームページで環境活動レポートを公開しています。

### 1-2 環境保全活動に関する組織体制

添付資料参照。

## 2 環境保全活動の実施状況等

項 目		取組結果	今後の取組計画
2010 年度環境効率指標を達成する			
環境効率指標値	目標指標値		
①売上高／エネルギー使用量	0.081	0.081	電力使用量の見える化システムの導入
②売上高／二酸化炭素量	1.78	1.85	で省エネ活動に取り組む。
③売上高／廃棄物排出量	17.83	20.13	不良品の発生防止。
④売上高／総排水量	0.065	0.055	冷却水の回収・再利用推進。
⑤売上高／総 BOD 量	0.18	0.11	水使用量の削減。
⑥売上高／窒素排出量	2.15	2.41	BOD 量の削減検討。
⑦売上高／化学物質使用量	69.0	394.7	PRTR 法対象化学物質の使用削減。
⑧売上高／化学物質排出量	4,680	6,206	

【別表】  
環境管理組織体制図 (2011.4.1付)

